



# 宝永小だより

No.8

福井市宝永小学校  
令和6年7月9日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～  
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

## 5年生 貴重な体験を積んだ宿泊学習 6月11日(火)・12日(水)

福井県立芦原青年の家で、宿

泊学習を実施しました。天候にも恵まれ、子どもたちは仲間と協力して、楽しく充実した2日間を過ごすことができました。

一日目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所式</li> <li>・オリエンテーション</li> <li>・ウォーキング クイズラリー</li> <li>・昼食(弁当)</li> <li>・カヌー体験</li> <li>・野外炊事</li> <li>・キャンプファイヤー</li> <li>・入浴、ベッドメイキング</li> <li>・反省会</li> <li>・消灯、就寝</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起床、洗面、健康観察、荷物の整頓</li> <li>・朝のつどい</li> <li>・朝食</li> <li>・清掃、荷物の整頓、荷物移動、部屋のチェック</li> <li>・レザークラフト</li> <li>・ピザ作り</li> <li>・退所式</li> </ul>



**<ウォーキングクイズラリー>** 近所の人にあいさつをしたり、ヒントをもらったりして楽しくできました。

\*「宿泊学習のしおり」に綴った、子どもたちの振り返りを紹介します。



**<カヌー体験>** 最初、落ちないか心配だったけど、安全にこげたのでよかったです。



**<野外炊事>** 自分の仕事はしっかりできたし、みんなの仕事を手伝ってあげることができて、おいしいカレーを作ることができてよかったです。



**<キャンプファイヤー>** 私が、今日、一番心に残ったことは、キャンプファイヤーです。理由は、レクリエーションのゲームとかが楽しかったからです。



**<レザークラフト>** 私は、工作が苦手でいやだなと思っていたけど、革をスポンジでぬらして好きな形を金づちで打って作りました。予想よりも上手にできてうれしかったです。



<快適な宿泊部屋>



**<ピザ作り>** ピザ作りをがんばりました。おいしいピザを作るために、トッピングの順番を工夫しました。にんじんをうまく切れなかったけれど、みんなが助けてくれて、やさしいなと思いました。

**<2日間の振り返り>** 宿泊学習をして、友達の良さを見つけられました。これからの学校生活でも、友達の良いところを見つけられるようにしたいです。

**<2日間の振り返り>** 私は、宿泊学習で、自分で予定などを確にんして、自分で行動ができました。他の人にまかせずに、自分で考えて行動しました。このことを明日からの生活に生かしていき、学校を引っばっていけるようになります。

子どもたちは、「集団宿泊および野外活動を通して自然に親しみ、相互に協力し友情を深め合い、きまりある生活態度を養う。」という目的をもって活動しました。どの活動も協力して成し遂げ、仲間と過ごす貴重な体験になりました。豊かな自然の中で、学校ではできない経験を積んだ子どもたちは、大きく成長できただけでなく、学級としてのまとまりも、一段と進みました。

## 6年生 夢について考えた「夢教室」 6月13日(木)

<「夢教室」の様子>

福井ユナイテッドFCの尾崎瑛一郎選手に、夢についての講話をしていただきました。尾崎選手は、ご自身の体験を交えて、夢をもつことの大切さを熱く語ってくださいました。また、どう努力するかを考え、努力し続けることと、自分の



の夢に「本気」になることの大切さを力強く、子どもたちに伝えてくださいました。「本気」で努力していきたいという前向きな感想からも、子どもたちにとって、夢について考える貴重な時間であったことがわかります。

**<6年児童の感想>** 私は、尾崎選手の話聞いて、他の人がやっているから、親に言われたからという理由じゃなくて、自分がやりたいという気持ちから、自分にとっての「夢」ができるんだなと思いました。この話の中で、一番心に残った尾崎選手の言葉は「本気」という言葉です。人によって本気で夢をめざそうとするときはちがうけれど、きっと本気でめざしたいと思うときが来ると知りました。私の夢は、医りょうに関わる仕事をするということなので、私なんかできないとか、私なんて絶対に思うことがないようにたくさん努力して、自分がめざしたいと思う「夢」を大人になって実現したいと思いました。

## 「おかしもすき」を守って避難訓練 6月25日(火)

2校時に、大きな地震が発生し、その後、南校舎

1階の家庭科室より出火、校舎に煙が充満し延焼の恐れがあるという設定で、避難訓練を実施しました。今回の訓練は、新学年になって初めての訓練で、避難経路を確認し、「自分の身は自分で守る」ことと、情報をしっかりと聞き取って安全に避難することを重視して実施しました。

今回の訓練では、子どもたちだけでなく、教職員も、初期消火・避難誘導・通報などの動きを確認することができました。災害は、いつ起こるかわかりません。学校では、今後も安全教育を進めるとともに、様々な状況を想定した訓練を実施していきます。ご家庭でも、集まる場所や持ち出す物の確認など、災害に備えていただければと思います。

「おかしもすき」とは？  
おさない  
かけない  
しやべらない  
もどらない  
すばやく  
きく

＜1年児童の感想＞こわかったです。だけど、ちゃんとしゃがんでいどうできてうれしかったです。ほんとうにおきたときもがんばります。

＜2年児童の感想＞今日のひなんくんれんで、「おかしもすき」がまもれてよかったです。いつおこるかわからないけど、すばやくこうどうできてよかったです。またがんばりたいです。

＜3年児童の感想＞わたしは、とてもびっくりしました。ちゃんと頭をまもれてよかったです。これからも、いのちをまもっていきたいです。

＜4年児童の感想＞今日、消防署の人に教えてもらった「た」すけ合いは、少し考えていなかったの、次の訓練や本当に起きたときは、ちゃんとやれるといいです。「おかしもすき」を守れてよかったです。

＜5年児童の感想＞今日の避難訓練で、すぐに、つくえの下にもぐりこめたので、よかったです。ろう下にも、すぐに出て、静かに行動できたので、よかったです。放送も聞くことができて、本当に地震や火災があったときに、今日みたいなにげ方をしたいです。

＜6年児童の感想＞今回は、家庭科室が火事だったから、いつも通りの避難経路で簡単だったけれど、次のときは、別の場所かもしれないから、ちゃんと避難経路の確認をしたいです。

## 6年生 素晴らしい歌声で堂々と発表 6月20日(木)・26日(水)

6月20日(木)に、保護者の皆様と家庭・地域・学校協議会委員の皆様に参加いただき、福井市連合音楽会の校内発表会を開催しました。練習を積み重ねてきた合唱曲「越えてゆけ」(作詞・作曲:弓削田健介)を全校児童の前で披露するのは初めてで、体育館には緊張感が漂っていましたが、いざ発表が始まると、6年生の子どもたちの呼びかけと歌声に圧倒されていきました。その素晴らしい歌声の後、激励も込めて、全校で、6月の歌「すてきな一歩」を合唱しました。1～5年生の子どもたちからは、その歌声を絶賛する感想が寄せられました。6年生の子どもたちのお手本に触れて、仲間と一緒に歌うことの素晴らしさを共感し、6年生に対する憧れの思いが高まりました。

＜2年児童の感想＞6年生のうたが、ぼくの心にひびきわたって、心がぞわっとしました。ぼくたちも6年生になったら、うたうんだなと思いました。6年生がかっこよかったです。さいごに、みんなであうた「すてきな一歩」も、がんばってうたいました。

＜3年児童からの応援メッセージ＞ちゃんと高音とてい音に分かれて、よこの人につられずに、「こえてゆけ」を歌っていたのがすごいと思いました。いきがあわさっていたし、ピアノもすごいうまかったです。ぼくも、あんなふうになってみたいです。本番の連合音楽会は、それいじょうにがんばってください。

6月26日(水)には、フェニックス・プラザで開催された「第63回福井市小学校連合音楽会」第3部(午前:12校)に参加しました。初めてのステージでの発表にも関わらず、子どもたちの歌声は、完成度の高いものでした。お揃いのTシャツに身を包み、言葉が伝わるように丁寧に歌い上げる本校の子どもたちに、会場からは割れんばかりの拍手が送られました。客席に戻ってきた子どもたちは、やり切った満足そうな笑みを浮かべていました。

今回、子どもたちは、「越えてゆけ」という素敵な歌に出会いました。今後、大きな壁にぶつかっても、

この歌を思い出し、未来に向かって進んでいってくれることを期待しています。

＜会場を魅了した子どもたち＞

＜6年児童の感想＞私は、「越えてゆけ」の合唱をする中で、しっかり口を開き、大きな声だけでなく主旋律をサポートするようにやさしく歌うということに気がつけました。そして、その気をつけることを意識しながら、練習にはげむことができました。また、本番では思ったより緊張してテンポが速くなってしまったけれど、練習の成果が出せたのでよかったです。それから、〇〇さんのピアノ伴奏がとても上手で、たくさん練習したんだなと思いました。そして私はいろいろな学校が発表していた中で、一乗小学校の「戦国絵巻」が特に心に残りました。なぜなら、数多くの楽器がきれいな音色で奏でられていて、たいこやピアノなどの相性がとてもよかったからです。また、木田小学校や啓蒙小学校は人数が多い分、とてもはく力のある歌声でした。今回の連音で、努力はうらぎらないということを学べたので、今後の学校生活にそれを生かしたいです。

＜6年児童から〇〇先生へ＞  
〇〇先生、2カ月ほどのご指導、ありがとうございました。〇〇先生が笑顔にしてくださって、本番でも自分の限界以上を出すことができました。また、1番はげましてくださったのは、〇〇先生で、1回1回の練習がとても楽しかったです。卒業まで、お世話になるとは思いますが、また、よろしくお願いします。

\*教育委員会は、家庭・地域・学校が連携し、地域の特性や実情を生かしながら、地域に根ざした開かれた学校づくりを目指すために、全小中学校に「家庭・地域・学校協議会」を設置しています。本校では、〇〇〇〇様(宝永公民館長)、〇〇〇〇様(公民館運営審議委員長)、〇〇〇〇様(宝永地区子ども会育成会長)、〇〇〇〇様(認定こども園 聖三一幼稚園長)、〇〇〇〇様(市主任児童委員)、〇〇〇〇様(まつのき児童館長)、〇〇〇〇様(PTA会長)に今年度の委員をお願いしています。6月20日(木)に、第1回家庭・地域・学校協議会を開催しました。

【報告事項】・令和6年度スクールプラン ・4月からの子どもの様子 ・地域と関わる一覧表 ・園小接続推進計画

【情報・意見交換】・連合音楽会の校内発表会 ・放課後の子どもたちの様子 ・家庭でのICT使用による危険性

\*福井震災から76年。その当時のことは、写真等でしか知ることができない状況ですが、6月の全校朝礼で、当時の様子を伝えました。また、子どもたちは、6月28日(金)の福井市戦災・震災犠牲者追悼式のサイレンに合わせて黙祷をしました。

\*保護者の皆様には、お忙しいところ、教育懇談会にお越しいただき、ありがとうございました。担任から、学校で頑張っている様子をお聴きになり、お子様を褒めてあげていただけたでしょうか。今後も、保護者の皆様とコミュニケーションを図りながら、一緒にお子様の成長を支援していきたいと考えています。気がかりなことがございましたら、遠慮なく、ご相談ください。